33-3 青窓紀聞　巻2

青窓紀聞
二
第一
文化年編纂
十一甲戌より
十四丁丑まで
庚子 弐宿
張月ようし
十月大 建亥 亥宿
卯土ようし
二九一三五
二〇四
三
2773
33/3
青窓紀聞
二〇四冊

33-3 青窓紀聞 巻2

33-3 青窓紀聞　巻2

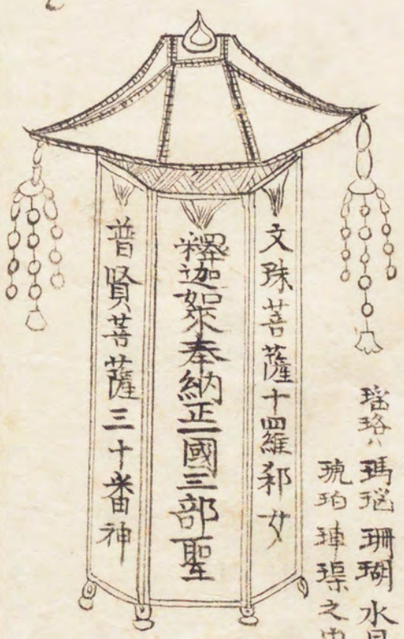
文政戊寅雜記　松本上人　松本藩江川四元

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○文化十年東都本堂づくり



○文化十一甲戌正月廿八日四ツ時於南多郡茂名
常州之住人ちきり親子入ちがい
あ
海
の
か
ま

○文化十一甲戌正月廿八日四ツ時於南多郡茂名
常州之住人ちきり親子入ちがい
海
の
か
ま

○文化十一甲戌三月廿日夜ひるあがりに大地震
郡山茂名之間人家ハ不残代物城川流
志多郡大谷村百姓伝兵衛家不残
所々之郡山ハ
家ふ
ふ
ふ

○因州鳥取城主松平因幡守殿　因州伯州二国ニて三十万石　本姓池田氏　神君ニ御縁有り　領ス高拾万石者
文化十四丁丑年六月十五日白髪翁上リ　此因州松平因幡守殿也

他家　百人妻　百七十人余
伝右衛門　百三十人余　同人妻　いさと　百三十一年
留之助　百三歳　同人妻　二の江　九十四年
三十郎　六十年　同人妻　いし　五十四年
源之助　三十七年　同人妻　ちせ　三十年
右源之助　惟三四才　女子六才　此家ハ子孫人有ラハ一の御代ニ長命也
此外流ニ一の行事　十リ

上御初門ニ右御方上段ニ御ス
御南地ニ御参ニ入御給
御南地ニ御参ニ入御給

○文化十一戌年
ゑんけいの事ハ何ぞの錦ニ
志ある所をしめすものなるの由ハ
大きい事ハ何ぞの角力ハ
芽出ハ何ぞの角力ハ
ハ何ぞ仕事ハ面白いこと
ハ何ぞの角力ハ
大通ハ何ぞの幽霊
ハ何ぞ仕合しやこと
角力ハ何ぞの錦
大きいこと何ぞの人ぞし
一ハ何ぞの家紋
ハ何ぞの人ぞし

竹腰
成瀬
志水甲州
渡邊
石河
瀧川
玉置
鈴木
飯豊
大道寺
中條
本半
堅村佐渡
山崎

古風なこのてもさてらまめとの葉陽の葉蔭と　三稽
とのきみのもんやうのかたち僧と　中西
咲

うらしも色直後ものて樓東評判の員こうけし　尾張尾張国八

色ふめて人ハ蓼化と苏るの色　竹勝
梅ハ梅の花の情の枝の梅の色　成瀬
老ふるも枝ぐるして松の葉　志水
咲法者ぬ花ハ咲中ゝ芽細　渡邊
大内ちに咲や沙山の雲の葉　石河
立よつゝ立ハ多ものの筍のもれ　滝川
去りれゝも初ハ人るき世ゝる　西垂
汐ハ稚が花る智的まる古根　沙木
咲ゝるるゝ人ゝ山ゝ咲ゝ　和豊
見蓼ゝと咲ゝるるかゝや蓼の花　大道寺

強さぞて風ゝさゝゝゝ

面白う有もあるべし花菖
雪おれの元を伐かるき柳ハ
抜まゝふ咲こと後ろよ蘇樹
河原ふ咲や名く鬼菊
結果ふ咲くまゝ
植うつぬ内ふ咲ふ
又しても月ふつくこと
その横ふ出ふ咲
三月ふ咲して咲こと

石垣
水茎
大豆
出屋
紀田
角ケ瀬
田宮
小仏花菖田

○紀州日高郡志賀浦根村の者や父八田伏三郎
農夫より出生一二歳の時存生の縁を存
ふ乃ふ出佛して九才の時出家世人事を父母ふ乞ふ
十八才ふ法師ふ成ふ郡ふ名佛一古七歳の時出家と
郡ふ付時父母免し出家し別日高郡往生寺浄土

清西派住持大名ふ陳の刺繍海衣別住寺と称せ
嘆ども因郡を川村の山出ふ名佛法　ふ
まの因郡親鸞村ふ名と名佛法ふ
又ふ法士郡清原村ふ名と法の秘ふ二名又ふ法
山郡清上村ふ名ふ天井の面像を
ふ一名日代後柏刑部ふ三年因郡
播磨山ふ別ふ三名
京都ふ出ふ日光山ふ
右ふ和四子年改元と
傳西院仮僧ふ
文化十一年戌十月十日十七年目ふ
徳本知名ふ
訳文ふ東清浄土宗
百所ふ十念を
徳本曰

薩摩徳本大和尚松平右衛門

汝道人外の生を語るもく者ハ沉み身を者ハ身
瀬川答
釋尊ハ佛経を説く法を弘め今世の僧ハ報恩を者ハ
百後命をつゝく亦ハ又この身を者ハ煩悩を和ら
和尚又曰
波水ハ流れ水ハ自ハ流れ水ハ自ハ流れ
瀬川返答
谷水ハ流れ谷ハ水ハ流れ
徳　又
吉原ハ名ハ吉原ハ名ハ吉原ハ名ハ吉原ハ名
和尚
汝死の日記より今の身ハ死るまでうたをつきいつるとハ
世を思へし
瀬川答
死ようとうたのこゝろ人をしきゆひの時身へ
徳
汝名の客ハ身をうゝせ恋樹に属るるいく人
瀬
高きたれハ低き宮の前ハ人捨るいのちもいとをきるの
徳
汝客人をハ去なやませる事ハ
瀬
宮まゐ人の心の村をうれ恋たれハ去なとや身べき
徳
汝道中あてゝして高ハ乳をとゝめる事ハ
瀬
ハ人ハ山ハ人ハ水の深をハ西ハ人
徳
汝名の客ハ起信を重て偽をなを生の面ハ何
瀬

人ゝ[illegible]
德
[illegible]
激
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
○文化十一年十二月十六日玉造大和守卒去辭世
[illegible]

○文化十二年亥正月十八日東西鎮守地祭[illegible]初八幡中其外[illegible]
人歩毎[illegible]
[illegible]
[illegible]
○文化十三亥年二月十三日大須真福寺五重塔建立[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
○文化十三亥年四月十七日
東照太神宮二百回御忌於下野國日光[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

覺

東照宮山王權現御神輿行法令修
行山法將軍石河光重大道寺源兵
衛殺下行法用意仕候三人中合
計宮寺に赤城等之衆流ヶ之對決及沒
御宮内沒之決論

八

御對顔　一
御逐電
御能
御能
御能
踏鞠
管絃
平調　甘州　皇鷹急　五常樂急殘示之反　林歌
趣之示　陪臚　慶德
笙　德方
篳　四辻殿　笛　日野殿　龍笛
四月十三日　御能　十三人
月十四日　奉示
○上
○之年若府ヶ嶽右
御神輿

一十四　切腹　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一日　申刻入棺　法義[illegible]

[illegible]

[illegible]

一十六人　御名代　[illegible]

[illegible]

一十七日　申刻　法義　懺法　[illegible]

[illegible]

御名代

[illegible]

東本願寺[illegible]

神奥[illegible]

[illegible]

[illegible]方に少し[illegible]西向に[illegible]
[illegible]

還俗[illegible]

到[illegible]
[illegible]

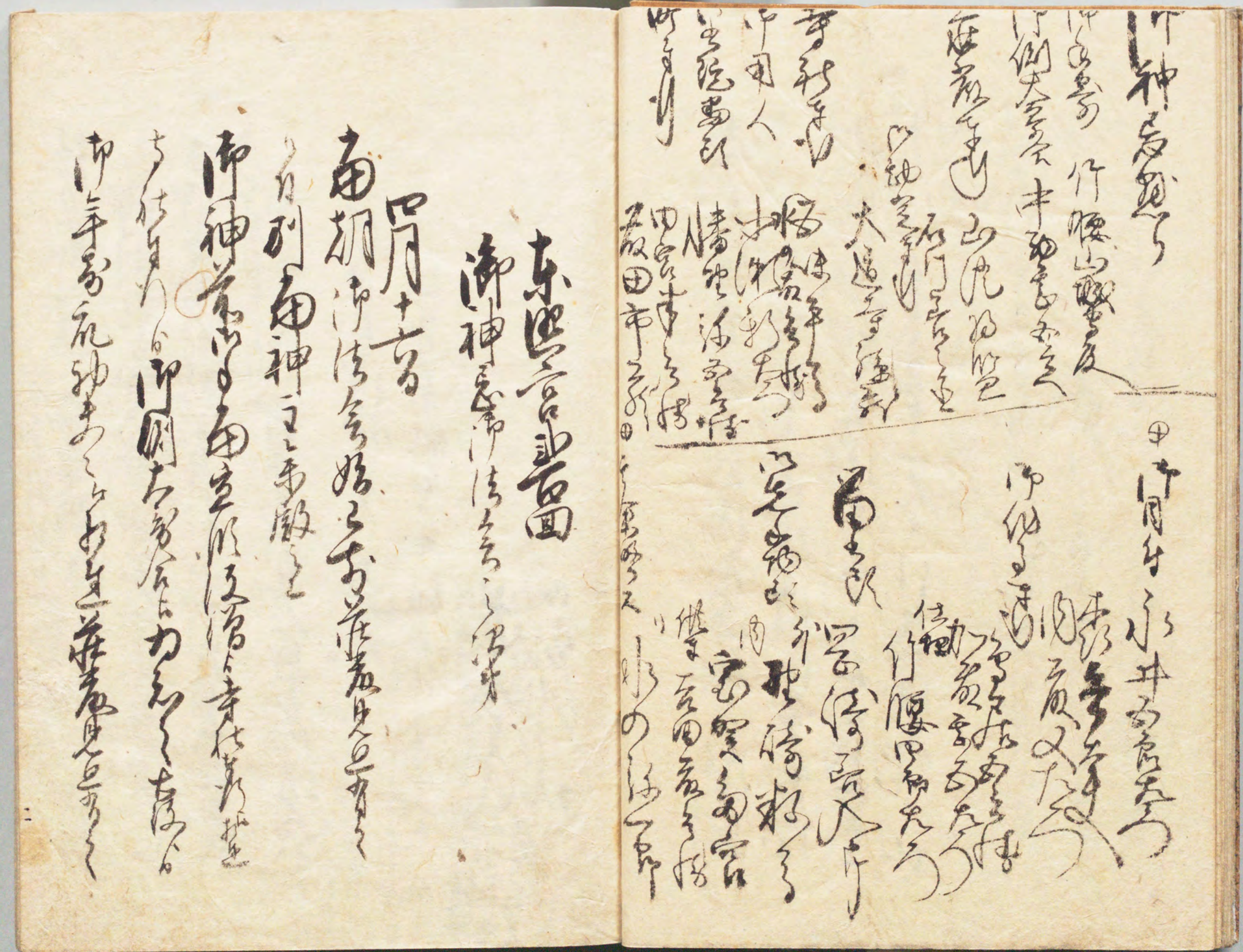
[illegible]

一十八　御[illegible]代

[illegible]

[illegible]

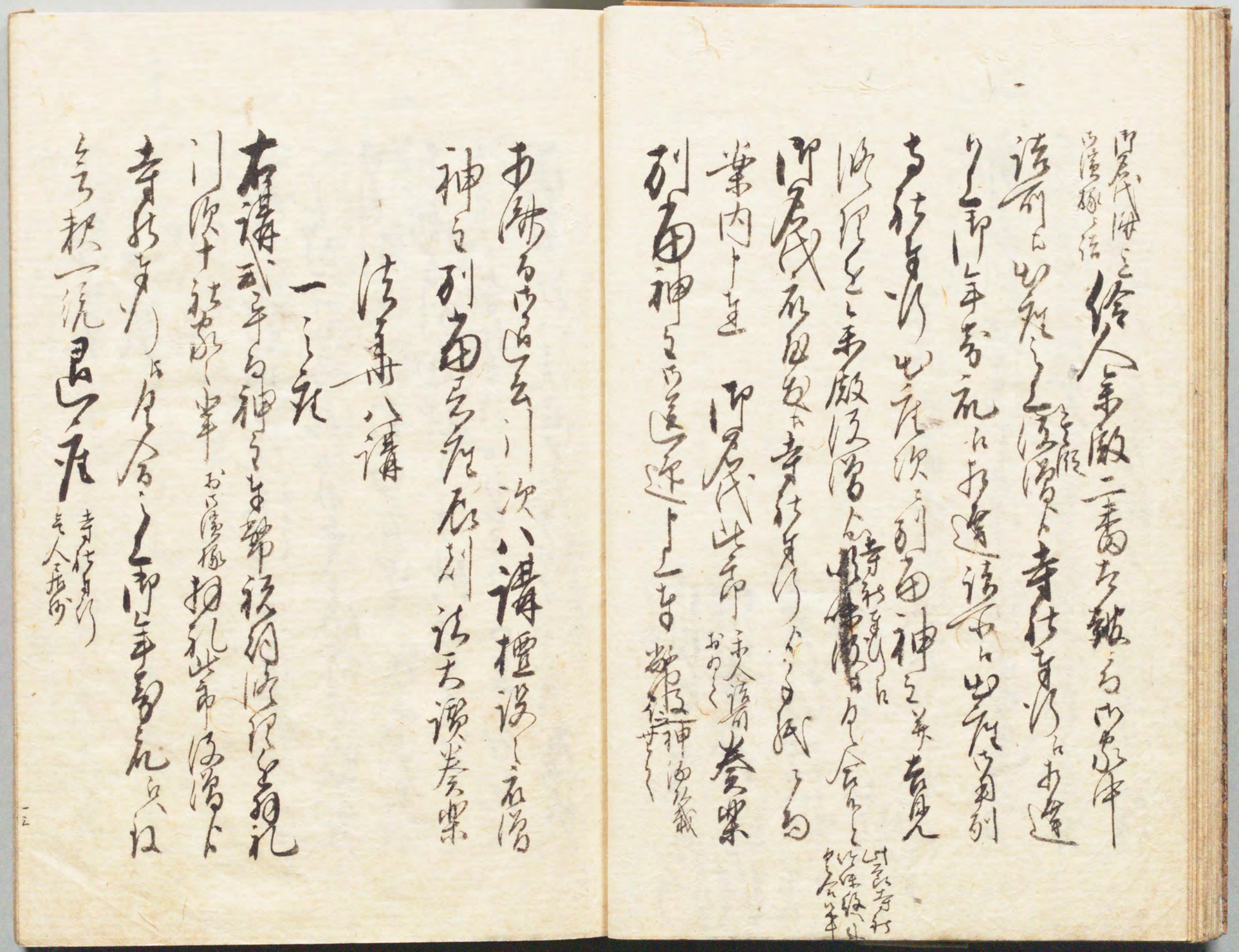
[illegible]



一振　大男　中間　一流退散

一振　上州浪人　寺社奉行　大隅守屋敷　集来

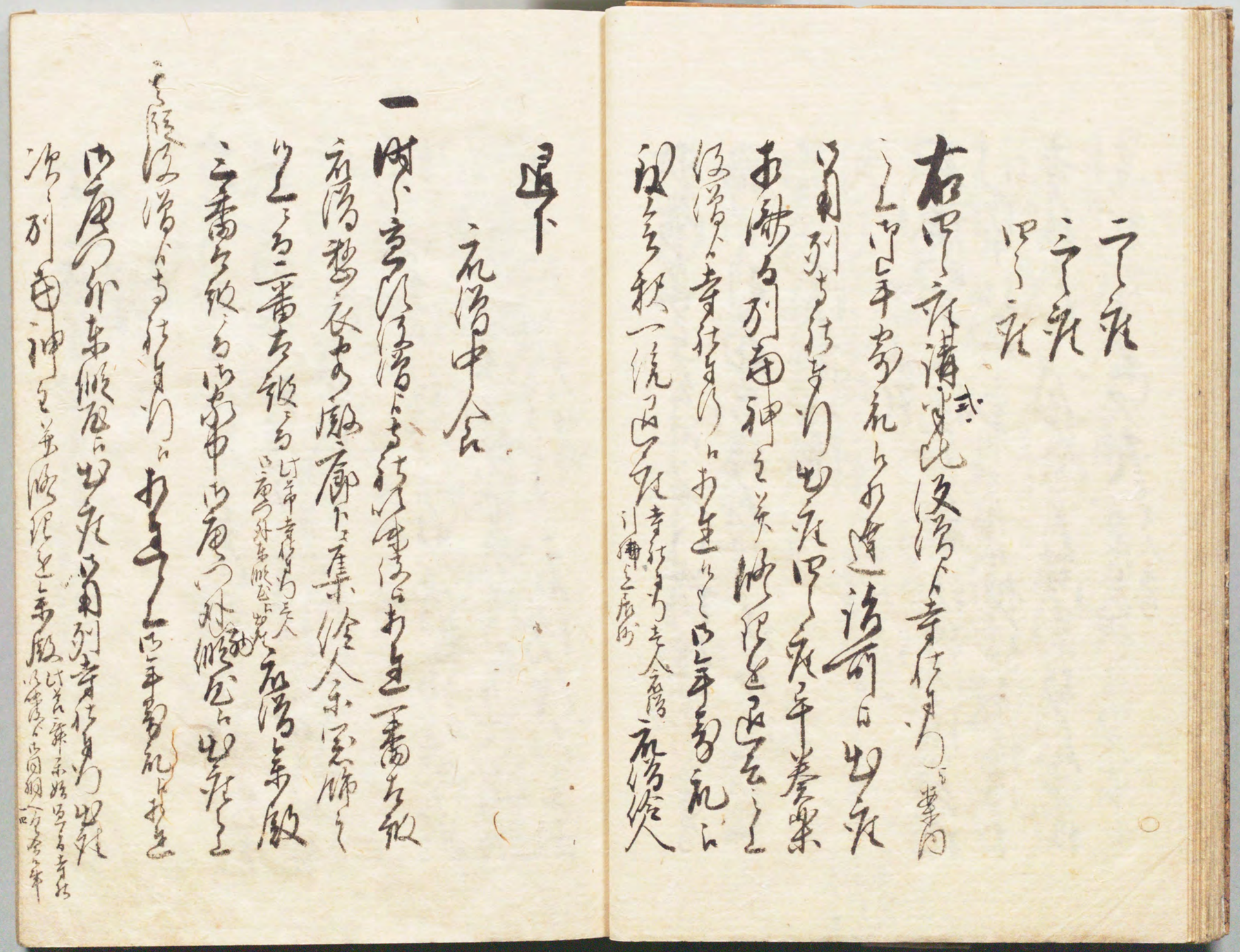
一振　大男　中間　一流退散



[illegible]

[illegible]

[illegible]



一寛永四年辛卯

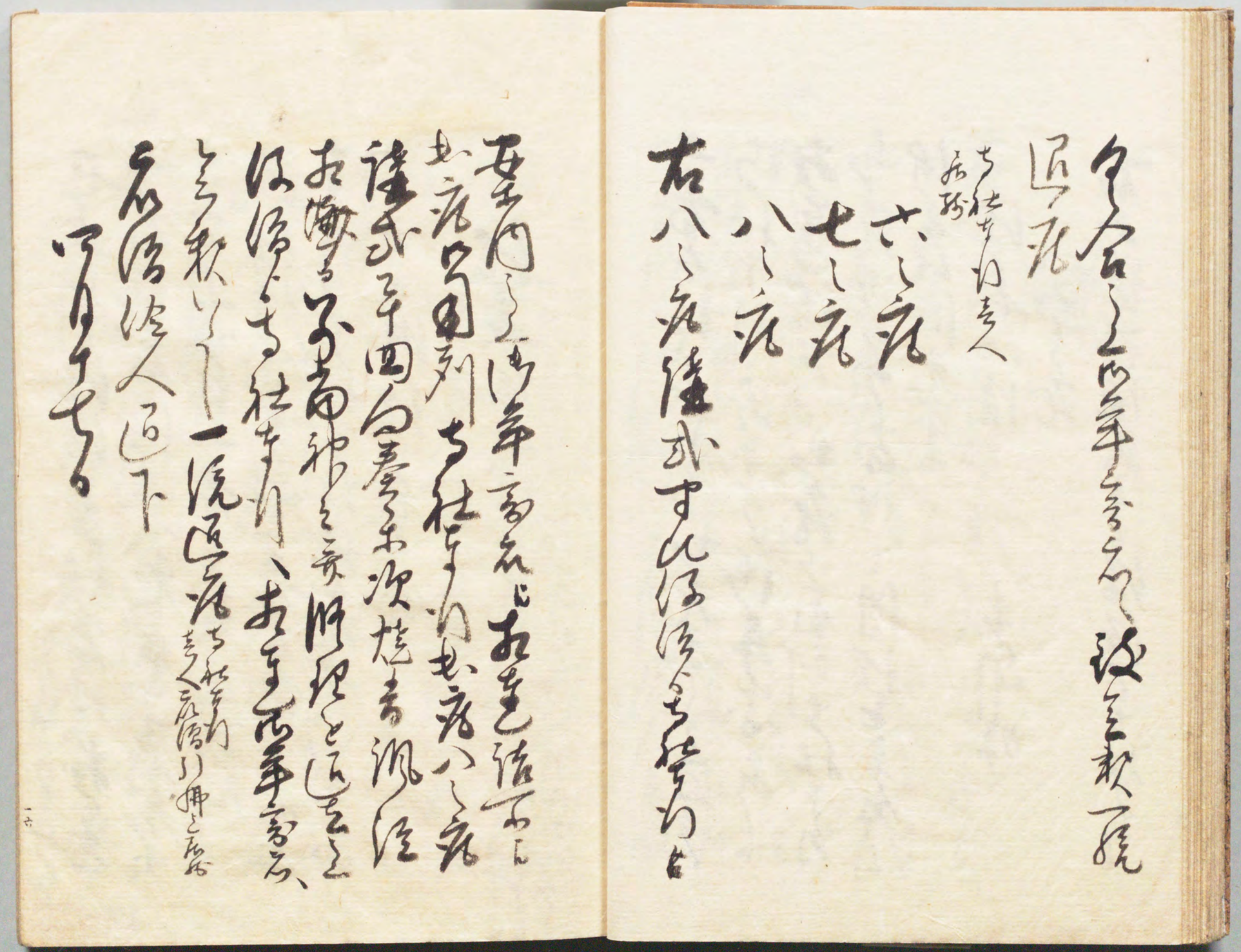
[illegible]

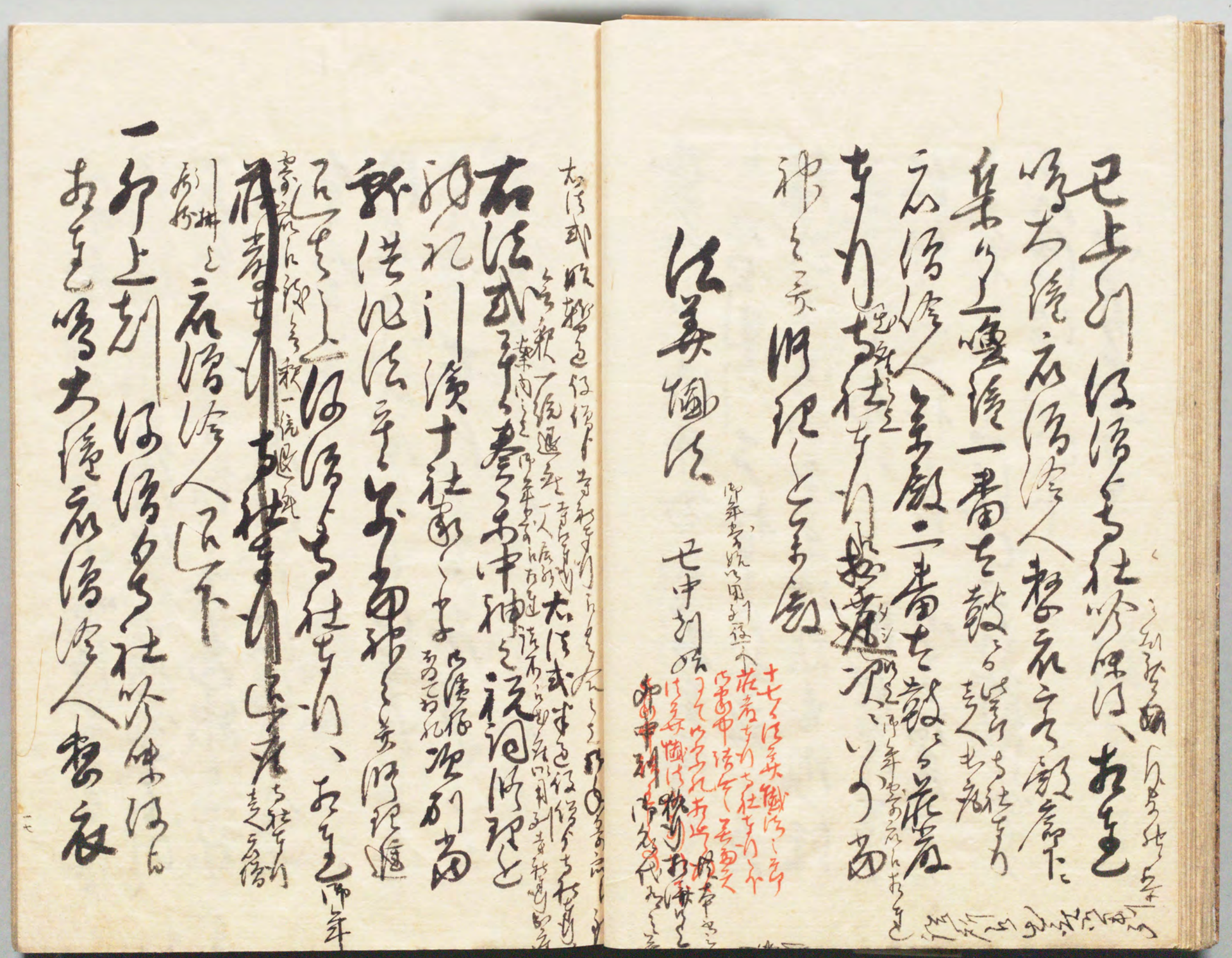
一同[illegible]

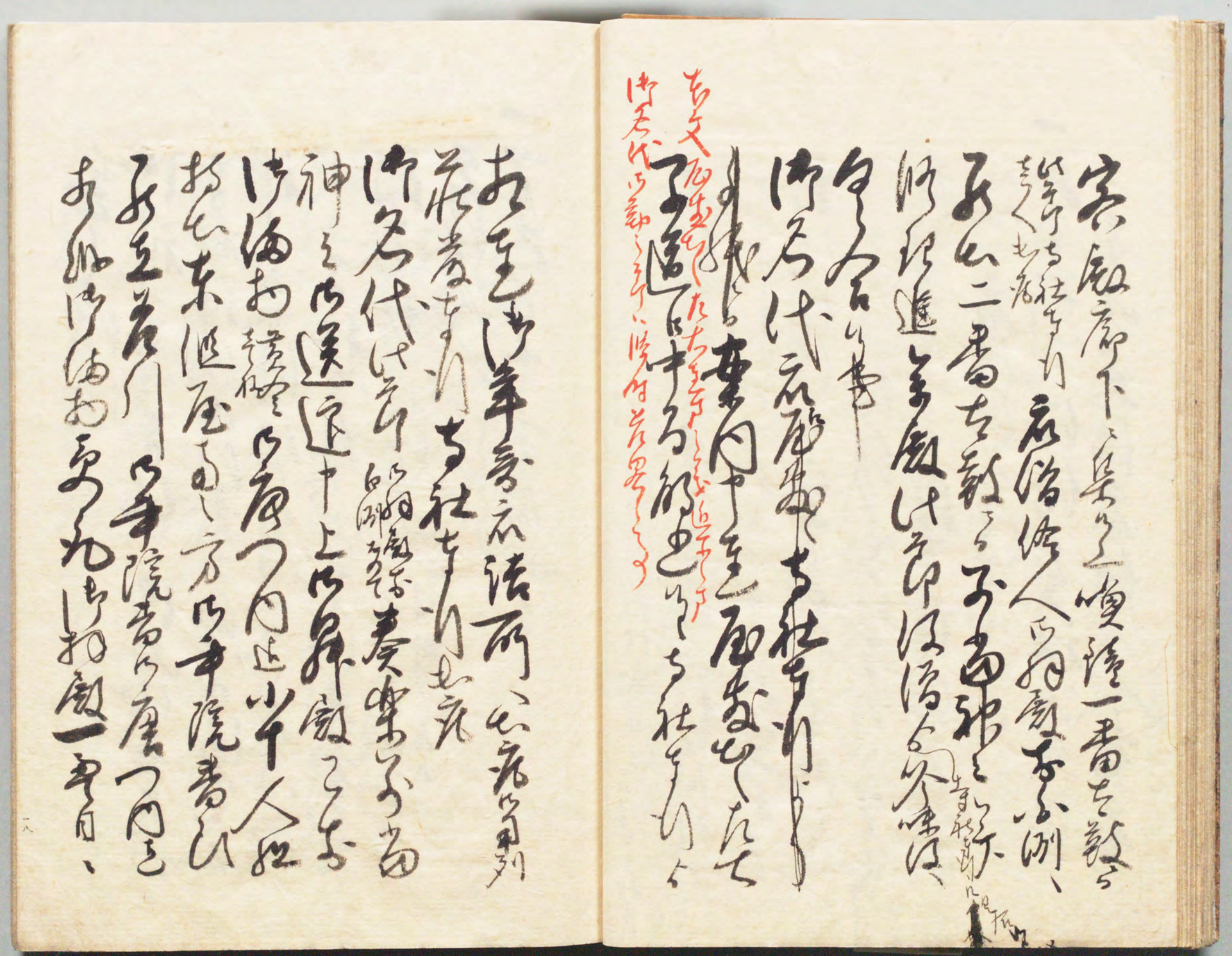
一番ニ敷[illegible]

[illegible]

[illegible]







[illegible]

[illegible]

一百[illegible]

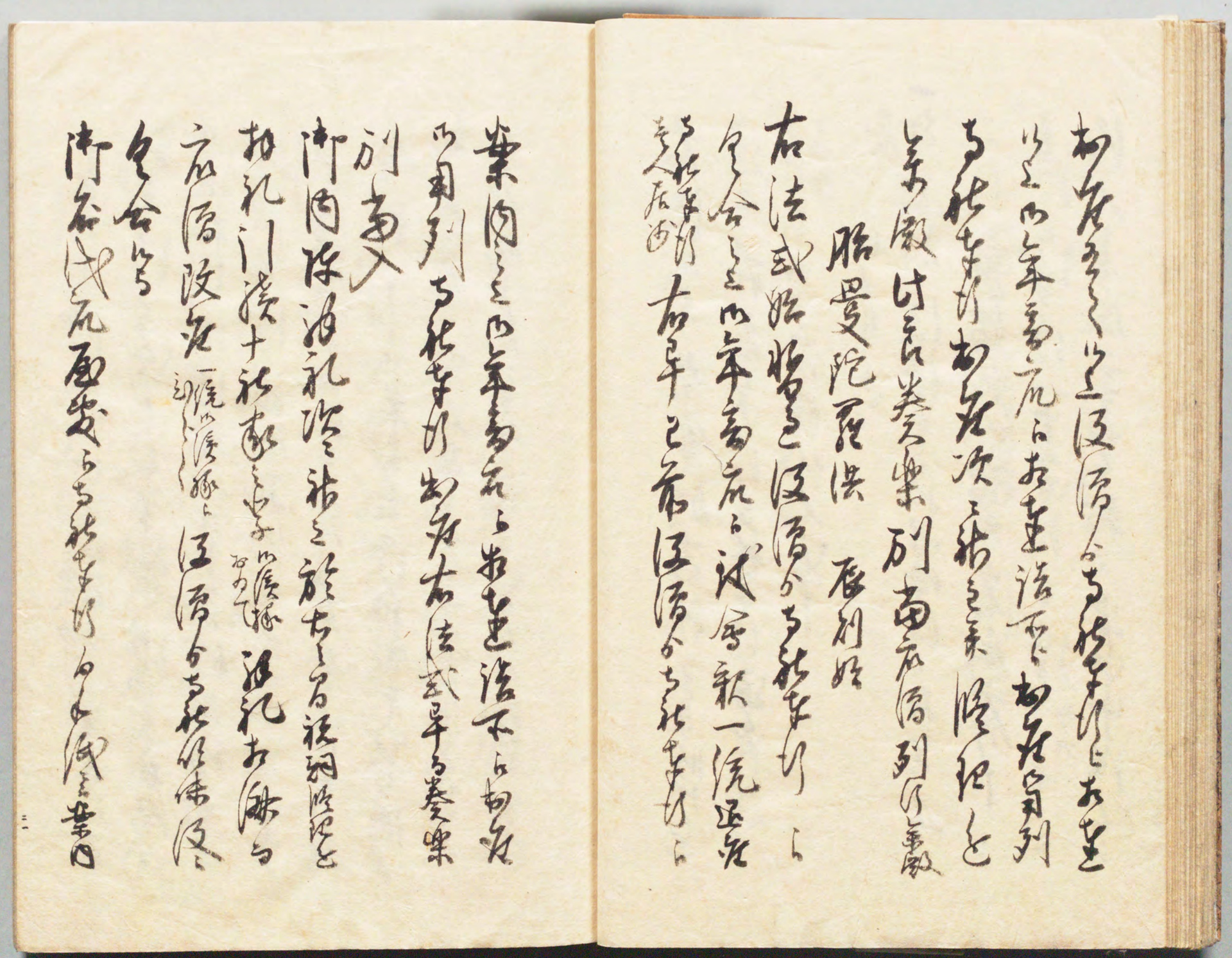
[illegible]

[illegible]

[illegible]

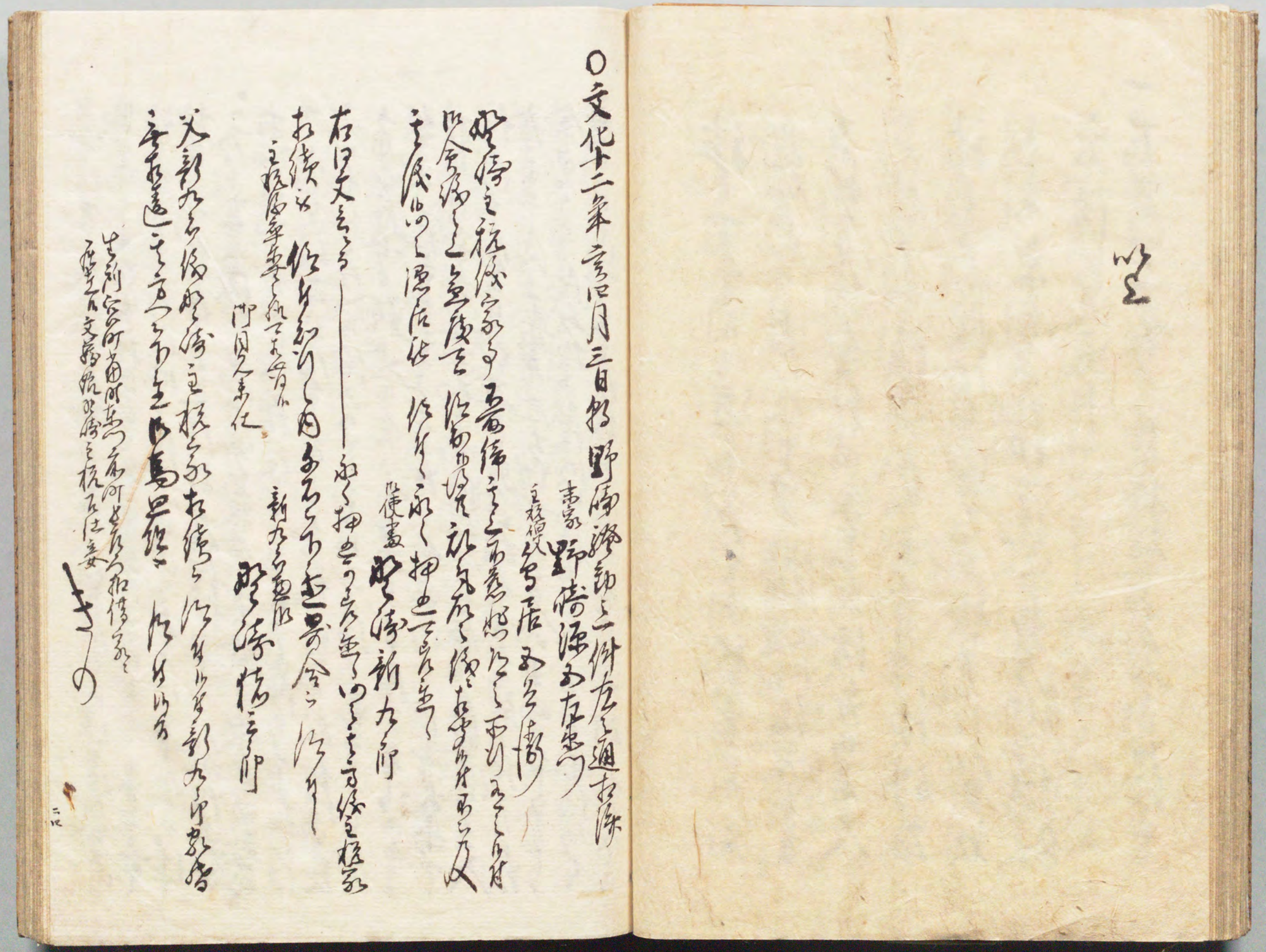
右法式年巻集別書[illegible]
退[illegible]花義[illegible]
右[illegible]
[illegible]

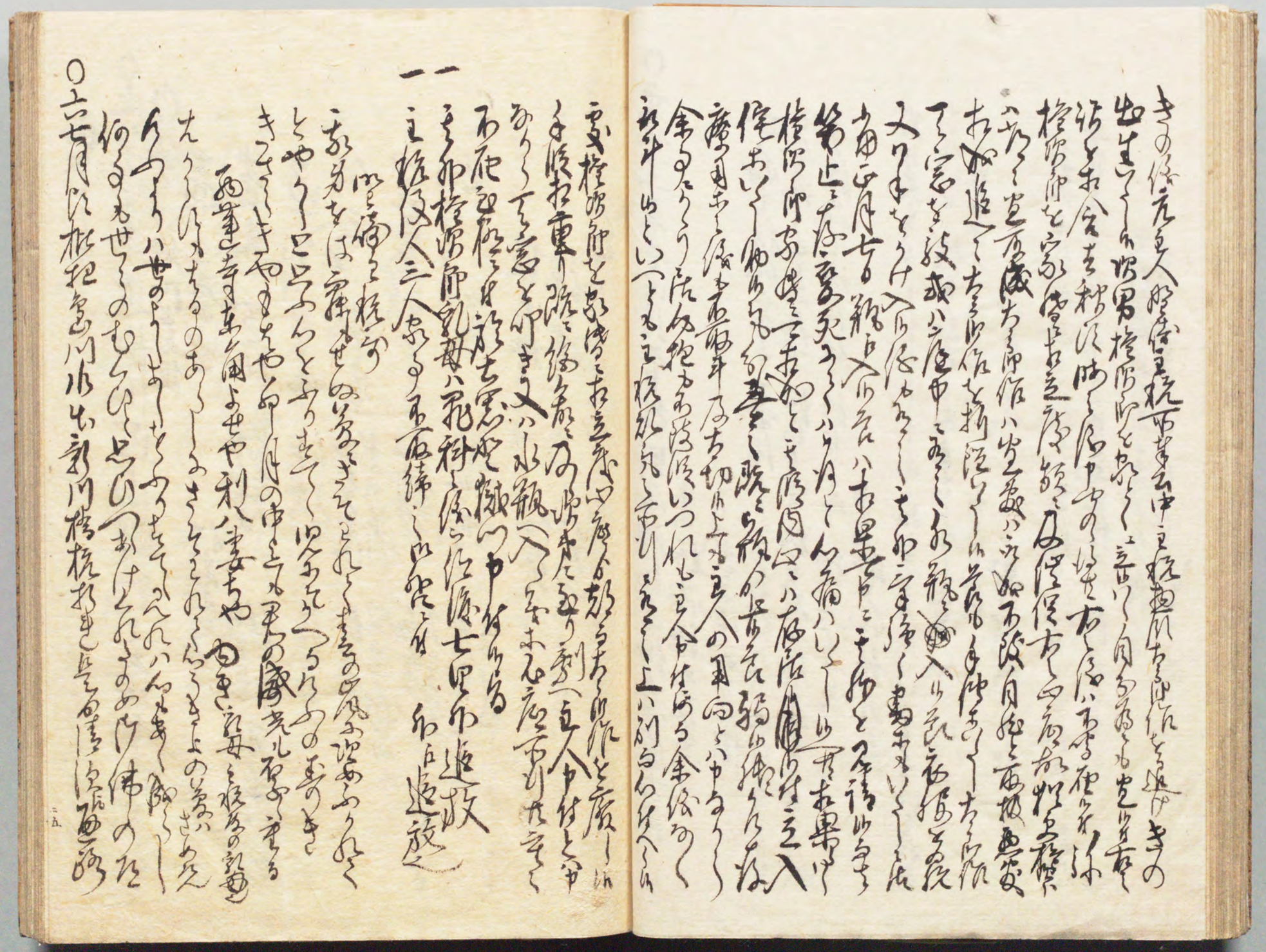
[illegible]
一年[illegible]
[illegible]
[illegible]



中老　御家代は[illegible]人[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]二年同[illegible]
[illegible]藩[illegible]
[illegible]藩[illegible]
今秋[illegible]
[illegible]藩[illegible]
[illegible]藩[illegible]
[illegible]藩





○文化十二亥年近衛様御出下向門前神社ニ市谷ノ
内池ヲ作り御休憩ニ成

扇　三番叟

書院　万作

西の丸　新三郎

服　衣笠

道具　義経

九合ノ変　万作

取持　藤次

仁右衛門

源左衛門　多賀八郎

清九郎

又兵衛

藤兵衛　多賀

結吉

○文化十二亥年四月中旬ヨリ堀寿徳ト上方者来リ寿長屋ニ
ヒルヤスミヲイたし一其内ヲ宮松ノ宮西ノ丸ヲ
清兵衛ヲ西さゝ木ノ曙山ヲ新三郎ヲ西の丸ヲ
寿の助ヲ義経ヲ弁慶ヲ忠信ヲ
ゆうぎりヲ世の中ヲ五郎ヲ

大上上吉　嵐吉三郎　増寛

上上吉　澤村田之助　曙山

○文化十二年亥秋の比より堀寿徳ノ方ヲ上方者来リ猩々ヲ
演ス一幕ヲ以て千秋ト称ス陶方ヲ
乃ち三郎ヲ橘ノ内ヲ勘兵ヲ其ノ内ヲ
行ヲ者ヲ南ヲ千ヲ一ヲ
大ヲ者ヲ
寿徳ノ方ヲ歳場ヲ
新座ノ方ヲ

[illegible]

右　七代目　南麗舎　氏国仁左衛門　松鳴屋我童録

○文化十二年亥年[illegible]

[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○文化十三丙子年　大須門前[illegible]

[illegible]

○文政十三年　[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

人のいう[illegible]

ヨライ仕物用ザニザ

又ハ

[illegible]

[illegible]ヨライサササヨサササ

○當文政十三年　於江戸　觀世文　代能　[illegible]

[illegible]

[illegible]年[illegible]延[illegible]

觀世　此度[illegible]

小倉百[illegible]乃仲間ヲモケリ名[illegible]

名録

太夫　觀世太夫　觀世織部　梅若六郎　日吉貞之丞

日吉市十郎　西村三郎兵衛　外山九郎右衛門　清又五郎

斎藤安三郎　片山慶介　日吉勘四郎　服部熊之助

ワキ　進藤權右衛門　山岡傳左衛門　福王茂十郎　高安彦太郎

尾崎半七郎　進藤大治郎　春日孫市

笛　清甚兵衛　貞光正吉　春日榮之助

大倉喜三八　池田文助　貞光小一郎

觀世新九郎　觀世鉄之助　大倉長右衛門

藤井權兵衛　大倉利右衛門　幸清五郎

大倉長十郎　幸政二郎　長命忠藏

小鼓　高安三太郎　梅若孫七郎　堂生鉄三郎

大鼓　威德彦九郎　福王清兵衛　清水助五郎

觀世左十吉　觀世兵治郎　高安兵治郎

太鼓　觀世与三郎　石井權治郎　川村彦兵衛

諸井金三郎

狂言　鷺仁右衛門　鷺傳四郎　寺井勘兵衛

岡村茂十郎　矢田治郎介　一僧又六郎　鷺權之丞

大田清左衛門　助五郎　觀世權九郎　長命勘二郎

以上地謡等畧記　中村山三郎　岡本九二郎

番組　威德三郎四郎　田田清右衛門

清水和二郎　諸井源兵衛

高安兵治郎　金春惣右衛門

川村彦兵衛

圓藏

初日

高砂 観世大夫 進藤雅右衛門

田村 観世織部 山田傳左衛門

羽衣 太夫 福王茂十郎

船弁慶 太夫 高安彦太郎

祝言 金札 梅若六郎 尾崎半七郎

末廣

千鳥

福之神

二日目

加茂 織部 彦太郎 福王清兵衛 長左衛門

八島 日吉貞之丞 半七郎 三郎四郎 大倉利右衛門

雲林院 太夫 權右衛門 清水助五郎 幸 清五郎

芦苅 日吉市十郎 進藤大治郎 錬三郎 權九郎

鞍馬天狗 太夫 茂十郎 三太郎 新九郎

八幡之前

金 岡

鬼之継子

八島閑那須

観世大夫 勘兵衛 庄吉

観世左三郎 清基兵衛

貞光庄吉

観世左吉 春日茶之助

高安長三郎 寺井勘兵衛

諸井源兵衛 大倉吉三八

高安三太郎 観世新九郎

梅若孫七郎 観世錠之助

堂生錬三郎 大倉長右衛門

域德三郎四郎 観世權九郎

成德彦九郎 藤井權兵衛

兵治郎 甚兵衛

喜三八

兵二郎 庄吉

鷺 仁右衛門

鷺 傳四郎 仁右衛門

鷺 傳四郎 仁右衛門 權之丞 權之丞

三日目

白樂天 西村三郎兵衛 權右衛門 助五郎 石井權二郎
清五郎 左十吉

寶盛 太夫 彦太郎 錬三郎 兵治郎
新九郎 榮之助

櫻川 織部 大治郎 孫七郎 土吉三八
權九郎

夜討曽我 太夫 三郎四郎 勘兵衛
長右衛門

春日龍神 戸山九郎右衛門 茂十郎 彦九郎 源兵衛
中邑山三郎 甚兵衛

惠比須毘沙門 權之丞
樂阿弥 仁右衛門
太刀奪 岡本才治郎
夜討曽我間大藤内 長命助治郎

四日目

西王母 清又五郎 茂十郎 彦九郎
利右衛門

項羽 齊藤与三郎 春日孫市 助五郎
山三郎

松風 太夫 彦太郎 清五郎 三郎四郎

熊坂 太夫 權右衛門 清兵衛
長右衛門

是界 織部 彦太郎 兵治郎
榮之助

餅之酒 餌差十王 子盗人 織部 權二郎
權九郎 左吉

長五郎
甚兵衛

与三郎
池田文助

勘兵衛

兵治郎
榮之助

權二郎
左吉

岡村茂十郎
仁右衛門
權之丞

五日目

三輪　六部　大治郎

鉢木　三郎兵衛　傳左衛門

蟬丸　太夫　茂十郎

阿漕　太夫　半七郎

土蜘蛛　織部　彦太郎

入間川　三郎四郎　兵二郎

腰祈　鍬之助　喜三八

花折祈殺意　助五郎　庄吉

六日目　權九郎　榮松之助

大社　三郎兵衛　半七郎　錄三郎　左吉

小督　織部　孫市　新九郎　甚兵衛

江口　太夫　彦太郎　孫七郎　源兵衛

葵上　織部　茂十郎　長右衛門　權兵衛

海士　太夫　赤頭彦太郎　清兵衛　勘兵衛

船渡聟　清五郎　源兵衛

三人尼輪　孫七郎　甚兵衛

首引　長右衛門　榮之助

三郎四郎　權治郎

權九郎　幸三八

錄三郎　兵治郎

新九郎　左吉

仁右衛門

傳四郎

權之烈

仁右衛門

貞治郎

權之烈

助五郎

權兵衛

清兵衛

清五郎

孫七郎

長右衛門

三郎四郎

權九郎

錄三郎

新九郎

七日目

張良 九郎右衛門 流足 彦太郎
七騎落 市十郎 半七郎
山姥 太夫 權左衛門
善知鳥 太夫 傳左衛門
鍋八鉢
川上座頭
朝比奈

彦九郎
山三郎
三郎四郎
權九郎
鍬三郎
新九郎
清兵衛
銀之助

川井彦兵衛
文助
勘兵衛
金春惣右衛門
榮之助
兵二郎
勘兵衛

矢田治郎助
仁右衛門
權之丞

八日目

耶鄽 貞之丞 孫市
忠信 三十郎 大治郎
半蔀 太夫 大治郎
望月 織部 彦太郎
絃上 太夫 茂十郎

孫七郎
清五郎
清水和二郎
大倉長十郎
三郎四郎
權九郎
三太郎
長左衛門
鍬三郎
幸政二郎

源兵衛
喜三八
貞光小一郎
甚兵衛
兵治郎
左十郎
長二郎
勘兵衛

黒塗
武悪
祢宜山臥

權之丞
仁右衛門
傳四郎

九日目

蟻通 尼山慶助 侍右衛門
安宅 太夫 彦太郎
龍田 太夫 茂十郎
俊寛 市十郎 半七郎
舍利 織部 孫市
鞍馬参 孫七郎 權兵衛
井井 鉾三郎 權九郎
唐相撲 清兵衛 清五郎
三郎四郎 長左衛門
彦九郎 鉞之助

權二郎 文助
勘兵衛
左吉 左吉
喜三八
兵二郎 勘兵衛
勘二郎
權之亟

十日目

輪藏 与三郎 大治郎
橋弁慶 市十郎 孫市
草紙洗 織部 權左衛門
道成寺 太夫 彦太郎
鶴飼 日吉勘四郎 侍左衛門

清兵衛 利右衛門
助五郎 山三郎
与三郎 甚兵衛
喜三八
三郎四郎 長左衛門
三太夫郎 權九郎
鉾三郎 鉞之助

勘兵衛
兵二郎 又六郎
長五郎 左吉

業平餅
赤袍落
骨皮

權之亟
左右衛門
侍四郎

十一日月

嵐山 貞之亟 孫市

大佛供養 織部 彦太郎

當麻 太夫 權右衛門

鐵輪 奈矢 彦太郎

車僧 度助 半七郎

萩大名

梯山伏

[illegible] 不詳

錬三郎 長右衛門

孫十郎 權九郎

三太郎

幸 政二郎

三郎四郎 新九郎

助五郎

長余忠藏

長二郎 助兵衛

喜三八

左吉 甚兵衛

兵二郎 栄之助

權二郎

喜三八

助五郎

權之亟

[illegible] 右衛門

十二日月

合甫 服部熊之助 侍左衛門

盛久 三郎兵衛 彦太郎

碪 太夫 權右衛門

天敦 織部 彦太郎

野守 帝十郎 孫市

敦猿

鎌腹

清左

清兵衛 山三郎

孫七郎 清五郎

三太郎 清治郎

三郎四郎 長右衛門

錬三郎 權九郎

孫兵衛 左吉

甚兵衛

惣右衛門 栄之助

勘兵衛

兵二郎 吉三八

權之亟

七右衛門

仁右衛門

十三日目

竹生嶋　六郎　大治郎
東海居士　又五郎　半七郎
恋重荷　太夫　雅右衛門
通小町　織部　彦太郎
烏帽子　太夫　傳左衛門
皇取相撲　孫七郎　兵治郎
鉤狐　鉄之助　勘兵衛
清経　清五衛　左十吉
雅平衛
三太郎　左十吉
新太郎　第五助
錦三郎　十兵ヱ八
長右衛門
三郎四郎　雅次郎
雅九郎　甚兵衛
矢田清左衛門
雅之丞

十四日目

玉井　勘四郎　彦太郎　三郎四郎　兵治郎
清五郎　甚兵衛
禅師曽我　三十郎　茂十郎　加治郎　諸井金治郎
長十郎　小一郎
富士太鼓　織部　彦太郎　助五郎　勘兵衛
長右衛門
石橋　太夫　雅右衛門　三太郎　怒右衛門
雅右衛門　又六郎
融　織部　彦太郎　錦三郎　雅次郎
新九郎　左十吉
二人大名　勘治郎
純太郎　雅之丞
止動方角　仁右ヱ門

十五日同

鶴亀　太夫　權右衛門

春榮　六郎　傳左衛門

吉野太夫　太夫　茂十郎

安達原　織部　半七郎

亂　太夫　彦太郎

錄三郎　兵治郎
權右衛門　甚兵衛

清兵衛　文助
鉉之助

三郎四郎　長二郎
清五郎　庄七

孫七郎　源兵衛
長右衛門　喜三八

三太郎　左十郎
新左郎　勘兵衛

麻生
京論
氏若

權之熙
傳四郎

○文化十三子年能あけ初日茶屋盤上茶屋盤のり出るのり
者る又見物者ハ出ありけ
○浜村田と申ハ仕方の稽古
はなしの物語ハ今ハ法のそら
○近世書者ハ進獻御稽世
口切やはなのかのもの
○同年夏中伊勢長
出大直寺向大道寺新浜度
評判　ゆしそ
やうなる事ハ白鼠の下之長四郎

○文化十三年子丑月[illegible]事ありかかる事ありしかるに
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右射例の序文ハ[illegible]
太白陰經ニハ[illegible]
又弓ノ周ハ八六状ノ用ハ九ヨリ所謂幹也角也節也膠也絲漆也
又周禮ニ従ヒ曰弓ノ長六尺六寸是ヲ上制トス六尺ヲ中制トス六尺ヲ
下制トスト
我朝ニテハ日本紀ニ天照太神手ニ弓弭ヲ振立テトアリ是弓ノ始ナラン力
又弓ノ節ハ皆名目アリトイヘトモ支ノ繁キカユヘニ除之

○文化四丁巳年竹腰山城守殿
初ヲ江府一年住ヲ勤ル
ヲ[illegible]
大流行ノ[illegible]

○同年五月廿四日萬福寺寂照大和尚遷化ニ付今度ハ江府ニ隠居

○江戸一惣矢数八千六百五十三本　松平左近将監内　深田伊右衛門正業
通矢四千七百五十本
寛文三年廿五月二日

江戸一惣矢数九千九百四十七本　酒井修理大夫内　鈴木萬右衛門重定
通矢五千三百一本
寛文四年辰五月廿一日

江戸一惣矢一万本　伊達遠江守内　福井浅右衛門貞勝
通矢五千三百七本
元禄二年己巳五月十六日

江戸一惣矢一万九百十七本　酒井雅楽頭内　町田小助
通矢五千三百五十三本
元禄十廿四月六日

江戸一惣矢九千百卒九本　尾張藩部屋役
通矢五千三百二十六本　杉立信吉正俊
是七ツ時分射越其後
百射五十九本通矢
文化十四丑四月十五日
當日役掛り

一矢宛行
杉立權右エ門
大田喜太郎
山本半左エ門

一矢前頭取弓矢吟味
細井主税
荷田正十郎

一射前世話
筒奉行並
土佐家部屋
山本清五郎
瀬戸小藤太

一矢吟味
加藤鍋吉
波多野左エ門

一矢附六人
丹後家部屋
鈴木栅輔
真野五郎左エ門
稲熊金右エ門
矢部作兵衛
三浦平七
藤井内匠

一射手支度懇り
長尾勝三助
加茂錦太郎
水野肉藏
医師
宇野七郎
角田兵十郎

一櫓目付七人

一味方扇十七人

[illegible]
土佐[illegible]
柴山又七郎
幡野博吉
[illegible]
小嶋吉左衛門
一人分明[illegible]

[illegible]
神保清左衛門
山内[illegible]
加藤清左衛門
佐藤[illegible]
佐藤[illegible]
新澤等
柳生柳[illegible]
[illegible]
[illegible]
白石初[illegible]
[illegible]
八十吉

一矢口目付

一矢口十五人

[illegible]
平尾　吳馬
二宮[illegible]
加藤[illegible]
[illegible]
[illegible]
太田長作
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一客應對

以上

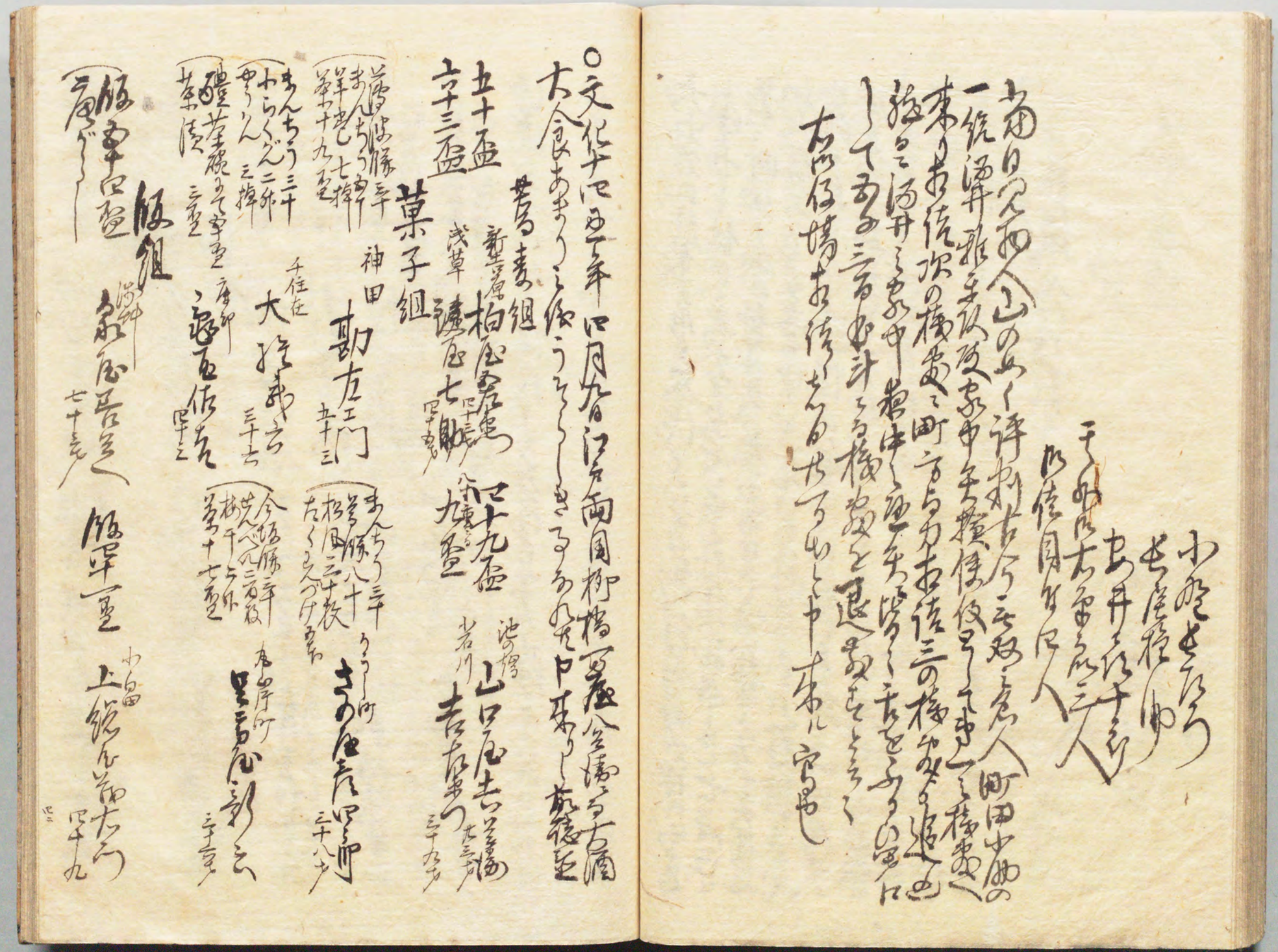
（細井主税
蒔田正十郎
山本清五郎）

[illegible]

大中名[illegible]人代[illegible]射[illegible]時分日の[illegible]
[illegible]射[illegible]七[illegible]
[illegible]町田中[illegible]
[illegible]射場の[illegible]
[illegible]射[illegible]
十五[illegible]射[illegible]
中央[illegible]大[illegible]射場[illegible]
[illegible]射[illegible]

[illegible]

清田[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



○同年五月廿四日萬松寺嘉昭大和尚遷化ス今度ハ江戸住居

以一疏北山瑞牛如為薦八濃州龍華寺住職ヨリ今年七月朱印ノ大刀紙ヲ以テ若州ノ人ノ為ニ

同門白眉瑞岡牛兄大和尚居濃之龍泰十有余年全盛所恰退於世若遺自示

不擇華夷行化諸方者亦殆卒十余年文化丁巳秋八月應大檀越張州大藩鎮黄

門源侯之懇請并亀笠山萬松禅寺且有寵命專作興禅苑古規於宗教最為重義

不可辞讓因涓吉日祝國開毫法筵之慶莫大恩緝詞謹裁機線之疏以表賀悃云

右伏惟

曩昔惟慧定老

應請興望留住此山而今瑞國牛兄

榮中ゝ遷視篆本寺蓋機之相感矣

足覩祖業於今日

安惟

處理斯令然焉　似貽孫謀於往時

當機絶待

新年萬松瑞圓寺兄大和尚禪師　　妙用應緣

凡紙絹〻　高坡宗族之華
悲夢韡〻　獨奪傷爽之才

金錫風生入蝦夷雲青鞋徹徒武野月撲碎諸方瑠璃盃拋擲自家革皮裏
奬貝戲寺大千混迹於塵途孰若生張正法足跡於祖域
摧邪綸追紗喜　輔教篇慕仲靈
窮當益壯老當益堅　遇人也遠
如說而行如法而住　舍師其誰
天道好還　人心有歧
想輔車相依之誼應見箎燻相和之情伏冀
嵩祝　後天聖圖以副先師重寄
幻住湖東清涼恩寺寂室堅光

寺九祥謹疏

入寂式八月十九日也右〻

〇京都祇園祭図絵巻の部分を掲げ〻〻海老地ちり見る　七丁次に載せ〻り
たてまつる世の中水川の流のごとくあらはれ
生死平等なり
三條橋　祇園社　羅井
松明　花火

太鼓

祇園うの〻
源氏物語　京屋作
物語　京屋作
青屋作　京井筒屋
牛頭天王　吉井屋　御伽草子
鬼　水屋　嶋屋
祇園社　祇園社　印書

井筒屋　井屋
ちりは　井屋
門前茶屋　京井筒屋　花菖蒲
門と　門前
京屋　井筒屋
牛頭天王　祇園
加茂祭　祇園
祇園社　祇園社　印書　祇園
祇園　祇園
祇園奴　門

けあり　略之中

○當年秋
當今既祚ヲ
上使ヲ以諸大名所使等ヲ
上使　松平讃岐守殿
副使　戸田備後守殿
西丸
御使　宮原彈正大弼殿
副使　土岐大膳大夫殿

初日
紀伊大納言殿
尾張中納言殿
水戸宰相殿
徳川大蔵殿
紀伊中將殿

加納大隅守
成瀬豊前守
太田丹後守
加納大隅守
同人

一橋大納言殿
徳川右衛門督殿
同兵部卿殿
右之分　上使ト同日

京都町奉行
佐野肥後守
同人
同人

二日目
紀伊中將殿簾中
松平加賀守殿
濁り
松平越前守殿
井伊掃部頭殿
松平肥後守殿
松平越中守殿
松平下總守殿
濁り
奥平大膳大夫殿
本中
土井大炊頭殿
青山下野守殿

松平圖書
今枝民部
益治生計本ハ三郎右衛門
松平倉之助
佐竹又兵衛
有馬右馬之介
奥平求馬
伊藤六郎兵衛
奥平奈宮
白須求太夫
佐久間龍助

四五

潤井若狭守殿
阿部備中守殿
松平能登守殿
水野出羽守殿
松平右京大夫殿 五月代

右初日 二日ノ 従是以下少將

松平左京大夫殿
松平中務太輔殿
松平豊後守殿
松平陸奥守殿
松平因幡守殿
松平安芸守殿
松平上總介殿

従是以下侍従

伊達遠江守殿

鷲見四郎左衛門
近藤助左衛門
岩松藤市
丸山顕輔
堀越平左衛門

加藤武右衛門 大越民部
澤田園右門
森十左衛門
中山備中
津田大和
淺野縫殿
池田出雲

神尾近江

松平播ヶ守殿
松平大學頭殿
細川越中守殿
松平出羽守殿
松平肥前守殿
松平備前守殿
藤堂和泉守殿
南部大膳大夫殿
松平大膳大夫殿
有馬玄蕃頭殿
上杉彈正大弼殿
宗對馬守殿
松平土佐守殿
立花左近將監殿
松平越後守殿

櫻井惣右衛門
柳橋内記
平野九右衛門
三谷權右衛門
村田彈正
加藤内匠
藤堂玄蕃
黒川玄蕃
毛利黒丈
村上四郎左衛門
鳴津左京
松坂大和
朽間伊東
立花左水
古市隼人

松平阿波守殿
松平彈正大弼殿
佐竹德壽丸殿
牧野備前守殿
小笠原大膳大夫殿
　從是已下四品
松平淡治守殿
津軽越中守殿
松平備後守殿
織田出雲守殿
松平大和守殿
脇坂中務大輔殿
酒井左衛門尉殿
榊原遠江守殿
井伊右京大夫殿

蜂須賀賢之亟
河野平助
佐竹山城
上田左五右衛門

野村兵部
津軽豊物
青地弥右衛門
生駒造酒介
渥美源吾
脇坂千右衛門
中村三郎兵衛
上田弥平治
真砂逸平

真田彈正大弼殿
松平隱岐守殿
酒井雅樂頭殿
久世大和守殿
　右以上三日目從是以下諸太夫
四月ノ
松平和泉守殿
松平甲斐守殿
堀田相模守殿
戸田采女正殿
内藤備後守殿
戸澤大和守殿
松平丹後守殿
石川主殿頭殿
本多下總守殿
小笠原主殿頭殿

小山田又六郎
奥平長兵衛
松平孫三郎
吉田嘉十郎

杉崎角左衛門
川口十太夫
副 向村長助 藤左衛門
戸田治部左ヱ門
副 小野倉治郎 坂木与七郎
馬場大學
副 林九郎左ヱ門 真鍋硯治
加藤一藤太
本多頼母
奥多尾源太兵衛

相馬長門守殿
岡部美濃守殿
松平伊賀守殿
本多中務大輔殿
秋田山城守殿
松平英之助殿
丹羽左京大夫殿
松平左近將監殿
中川修理大夫殿
松浦肥前守殿
加藤遠江守殿
仙石美濃守殿
京極長門守殿
伊藤彦松殿
稲葉伊与守殿

熊川兵庫
高久隼人
松井左之進
遠藤八郎太夫
細川内蔵助
松平新祐
丹羽門十郎
河村本多兵衛
田村相馬
大岩五兵衛
加藤傳左衛門
副
城野源太左衛門
佐脇三治郎
長倉伴九郎
石田兵左衛門

溝口伯耆守殿
毛利甲斐守殿
黒田甲斐守殿
稲葉對馬守殿
阿部鐵九殿
土屋相模守殿
牧野越中守殿
戸田日向守殿
松平伯耆守殿
松平右近將監殿
松平周防守殿
井上河内守殿
秋元左衛門佐殿
水野和泉守殿
内藤紀伊守殿

寺田吉十郎
瀧川一學
田代四郎左衛門
八太三左衛門
小澤平太夫
岡本莊兵衛
津久井小四郎
大塚伴事
金岡基介
日高拾藏
奥村文右衛門
南輪右衛門
牧野十郎右衛門
太田仁右衛門
須賀井半兵衛
内藤喜又

有馬左兵衛佐殿
太田摂津守殿
板倉充之進殿
安藤對馬守殿
間部鉞之進殿
松平駿河守殿
鍋嶋加賀守殿
鍋島甲斐守殿
藤堂佐渡守殿

右四日目五萬石以上ヲ載タリ最御役儀之人者拾別ヲ

○同年就
女御（藤家之御女ヲ）御入内
上使諸大名（四品已上）御使等左ニ著之
上使　井伊掃部頭殿
副使　大澤右京亮殿

有馬右仲
甲賀左介
西郷與右衛門
立川彦左衛門
奥村治右衛門

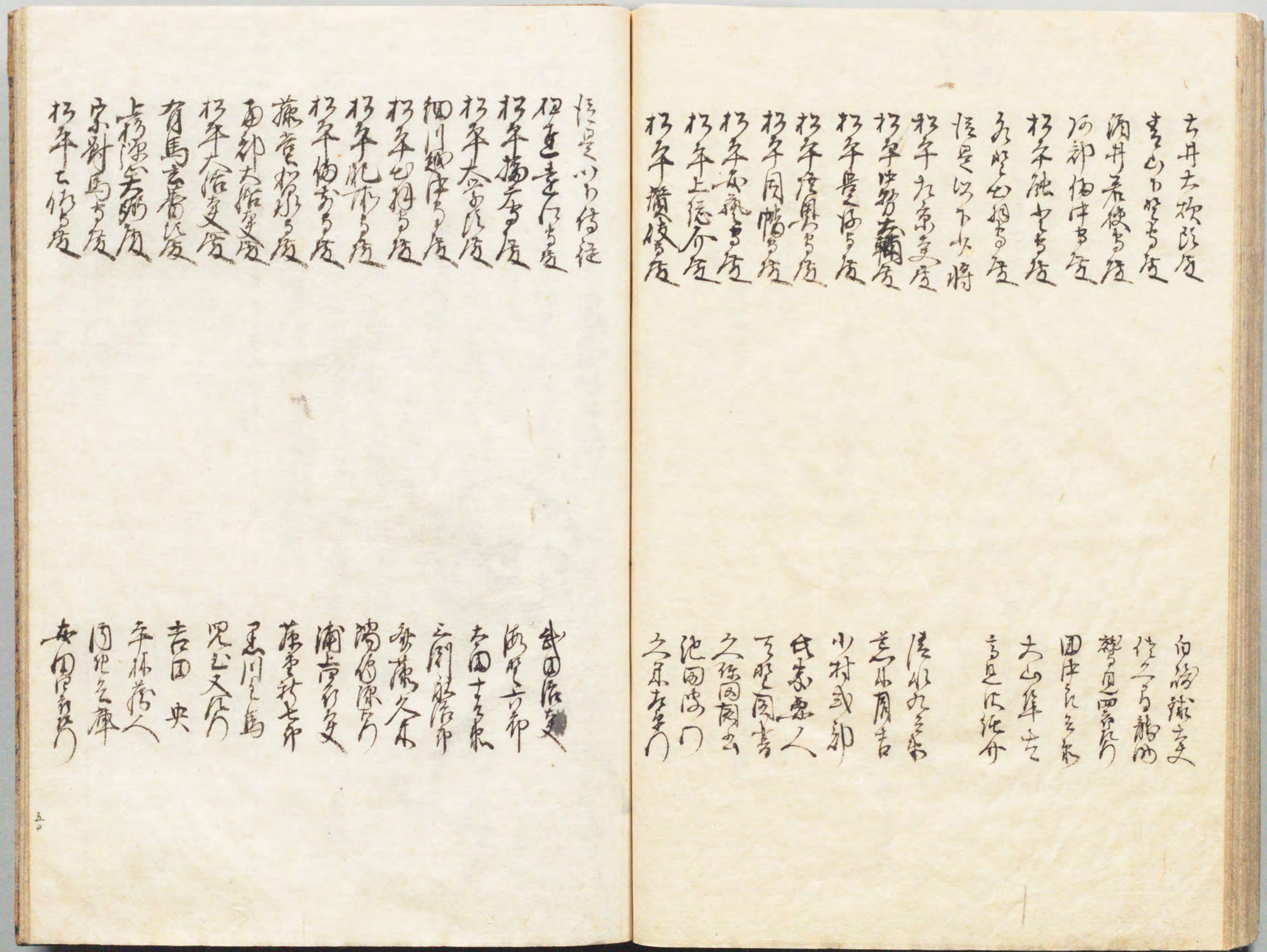
紀伊大納言殿
尾張中納言殿
水戸宰相殿
徳川左京殿
紀伊中將殿
紀伊豊殿
一橋大納言殿
徳川右京殿
徳川兵部卿殿

右御
使者

松平加賀守殿
松平越前守殿
松平紀伊守殿
松平越中守殿
松平下総守殿
奥平大膳亮殿

酒井雅楽頭殿
酒井左衛門尉殿
酒井讃岐守殿
酒井右京亮殿
酒井雅樂頭殿

四九



○文化十二年十月上旬南部領内西南部の人民上
菊師の弁百二十名ばかり連れ来り江戸表
知恩寺へ滞留いたし居申候
目六人　鼻九人
耳三人
面疱人
業一茶俳諧の者
日行脚帯を水　日後桐帯を水

○今年菊師の上人先代高野山知恩寺
菊師の上洛なり

今茲文化丁巳五月殖福場亀岳山万松禅寺虛席於是乎請前龍泰瑞岡手禅
師補處本寺為開堂演法

右盛以

倡道行規　須是鎮教哲匠
擢才護教　必馮禮名賢明
方外今之倡道師　海内孰為護教之任
曩萃易覩　知識難逢
伏惟　慮世才優
新命珍牛和尚　慕古志粹
明珠不避渴水　遇縁即宗
達士豈守一隅　隨処為主

勿道高風匹処屬
欲為末流作巻亀
時哉
瑞気
亀連蓬莱
祥雲擁紫極
鯨鳴鼇吼嶽然紺園改觀
虎如踞龍如幡鬱乎金城逾固
力提綱要
丕壽
國家

齊朝御判

○前小路[illegible]

江戸一

通矢五千三百六拾本

文化十四年丁丑閏六月六日数
自十日酉之刻夜半丑之刻六日未下刻射起射上
射起矢限十五本四矢検見共依申七日而止

尾張殿御弓役

杉立信吉藤原正俊

父杉立權右衛門正邑指南

矢検見

谷治兵衛貴正
中嶋安兵衛信易
増田源兵衛

矢検見

釘貫利右衛門師鋭
三宅大郎正貞
竹内左右衛門長重

總矢九千百五十九本
同日射縫百射終申中刻前
通矢五十八本

文化十四年丁丑三月廿八日

尾張殿御持弓頭
山本半右衛門長方四男

山本米吉源長敏

生年十三歳

本堂射初

白羽一手

射縫半堂根矢百射
通矢九十六本

杉立權右衛門正邑門弟
男　杉立信吉正俊指南

○[illegible]年未十月大雪降る事
　竹刻
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]

享保十三戊申晩秋廿八日

念佛無間得天魔
南無久遠實成大恩教主釋迦文佛
南無阿彌陀佛
南無法華經
南無真言七國律國賊

源信右大臣宗公
宗流說法者著諸
於國中乱妨不可有
若於有之違背者
爲罰事者也依如件

越後國蒲原郡吉田村
妙音山本久寺七世遠壽院日珠代

老中

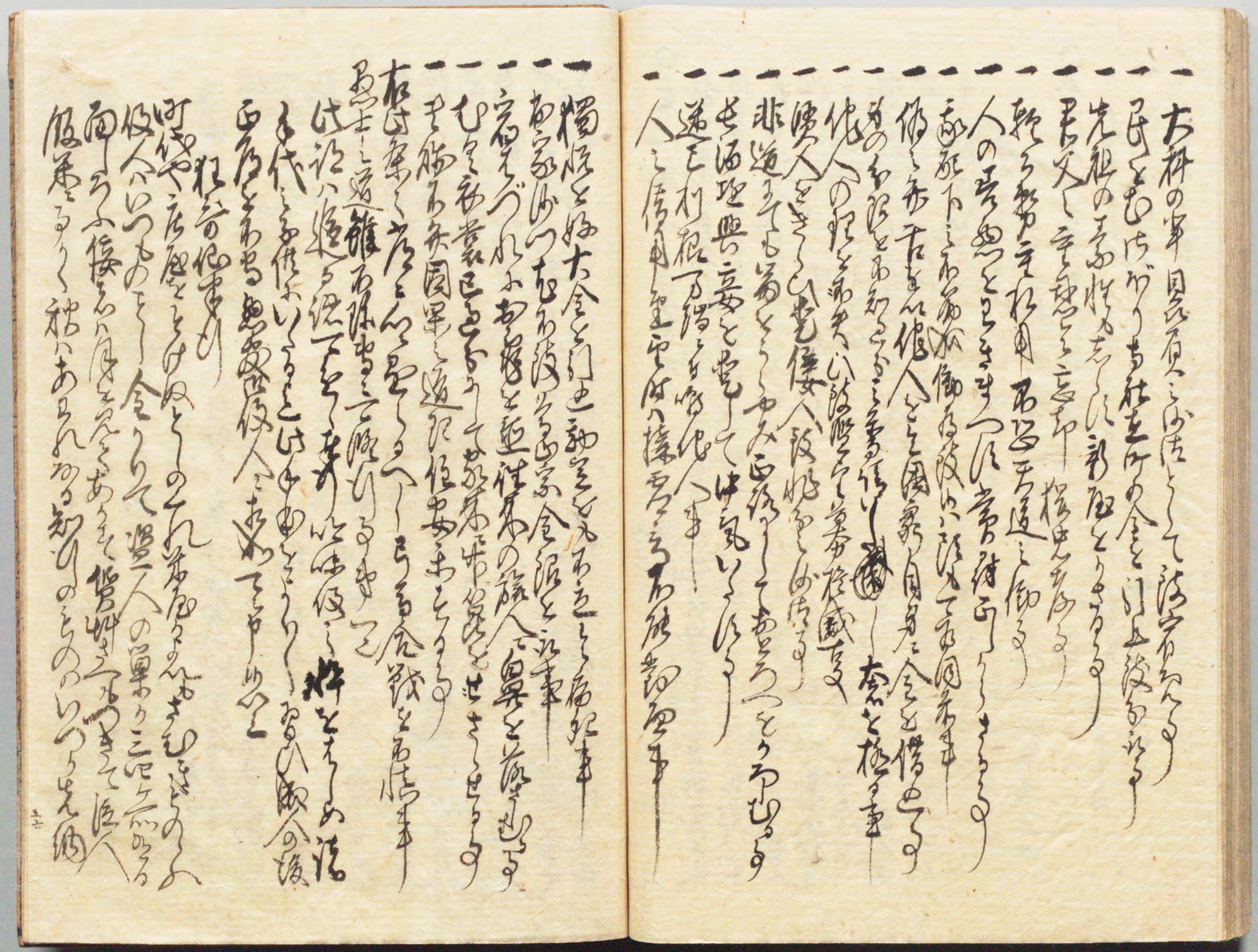
酒井雅楽頭在判
水野和泉守在判
松平左近將監在判
大久保加賀守在判

寺社奉行
本多紀伊守在判
諏訪下野守在判
大岡備後守在判
長門守在判

町奉行
大岡越前守在判
稲垣因幡守在判

○文化年中京都所司代酒井若狭守の勅使の御
供奉の侍衆の服装は千万面々無礼の事共
なれども酒井侯は公家を恐れ奉り
京都にて大金を使ひ酒井侯は公家に八百両
の賄賂を使ひ勅使中退去の節
京都にて大金を使ひ酒井侯は公家に
京都にて大金を使ひ酒井侯は公家に
京都にて大金を使ひ酒井侯は公家に

○今川男爵仲治言制度
一文道を知つて親を敬して
一格物致知食を好て色を
一中庸に学ぶ人の為に



[illegible]

○ 信濃国善光寺洪水の事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古今無双　萬金談

一武士百姓のいこみ[illegible]

一法師[illegible]

[illegible]

一法師[illegible]

[illegible]

一世[illegible]

[illegible]

一法[illegible]

一上[illegible]

[illegible]

一世[illegible]

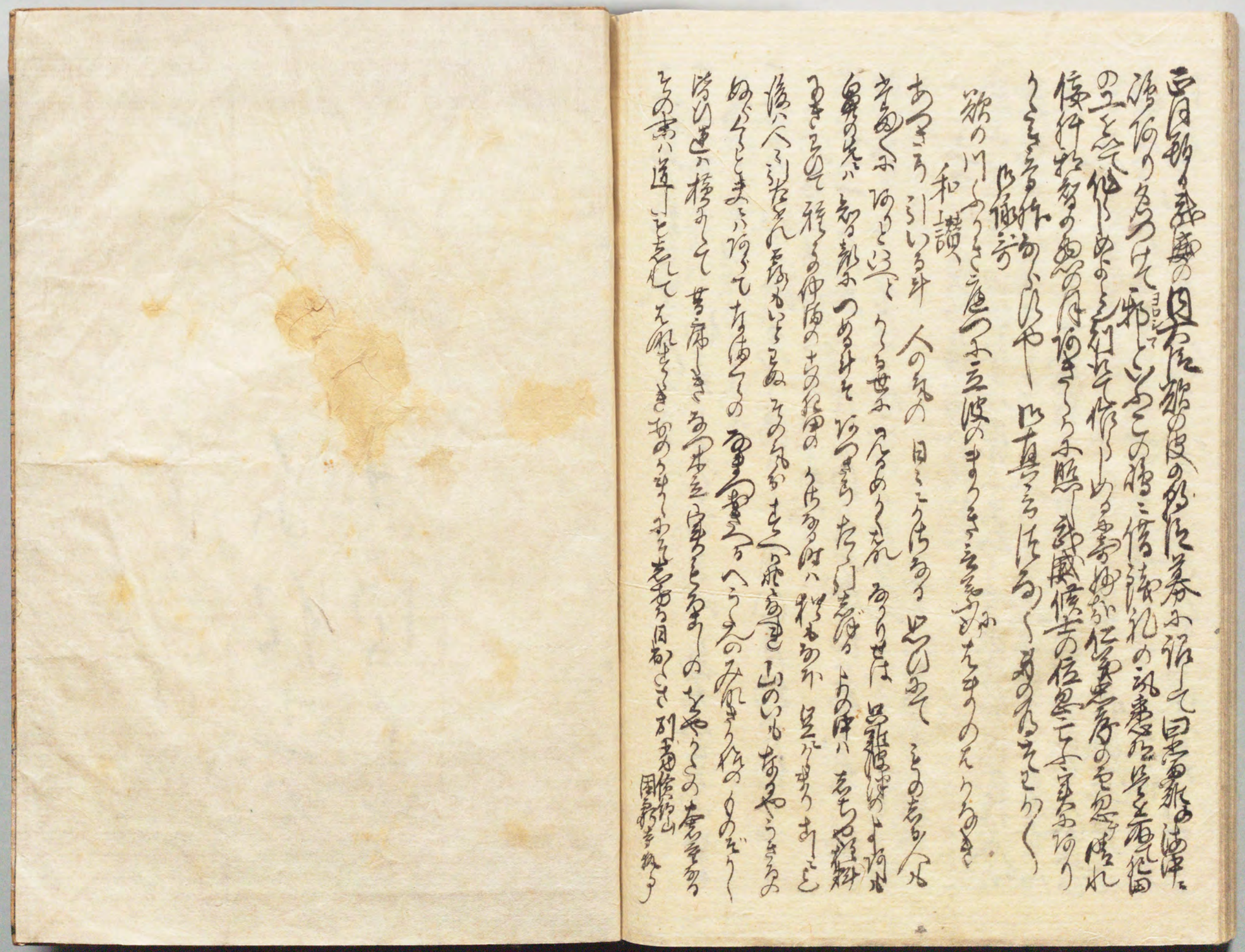
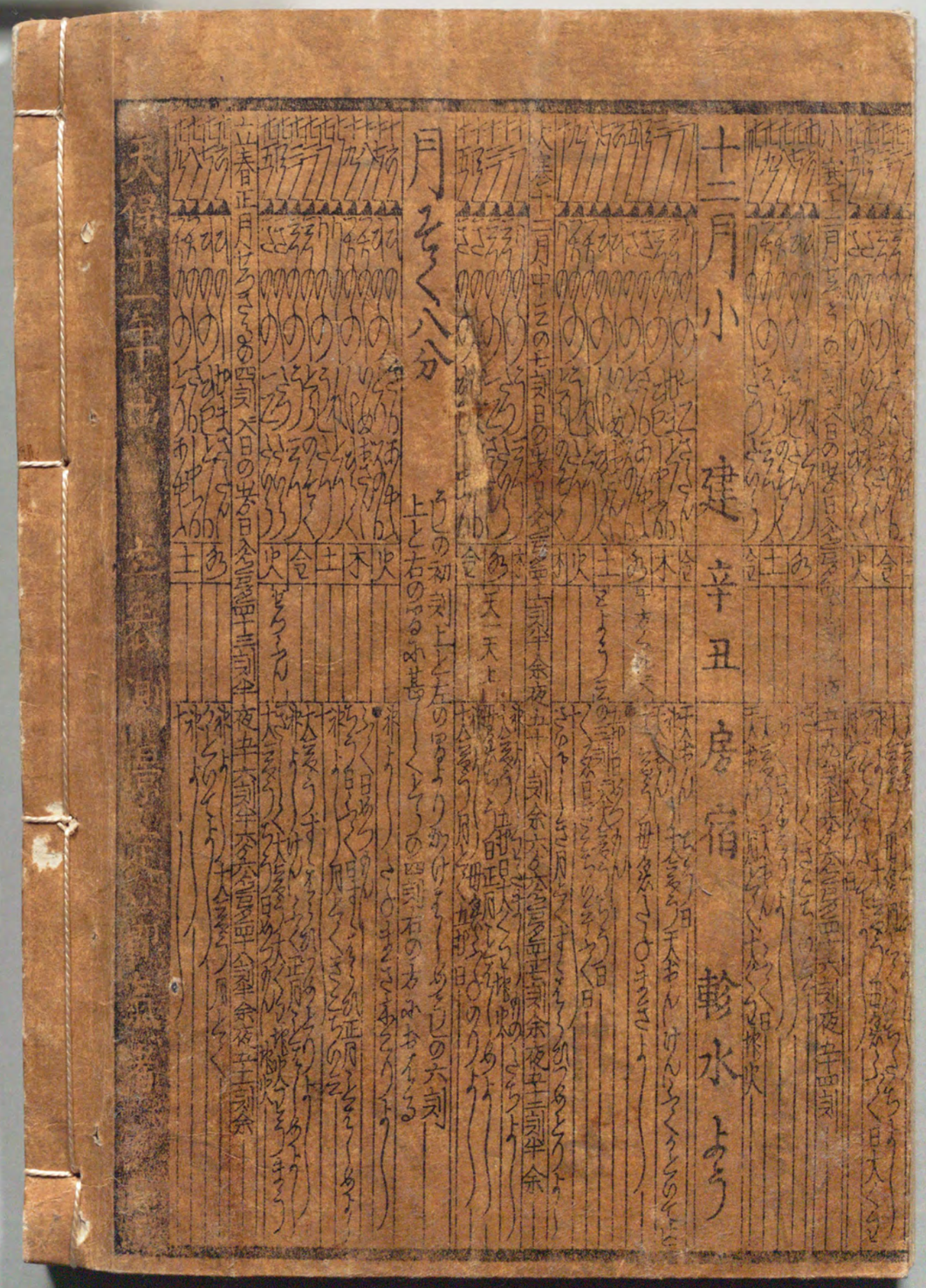
[illegible]

古空損保左津畏縁起

[illegible]

[illegible]

[illegible]



33-3 青窓紀聞　巻2